

久留米市美術館 開館10周年記念展

 久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

 公益財団法人
石橋財団
Ishibashi Foundation

美の新地平

石橋財団アーティゾン美術館のいま

The 10th Anniversary of Kurume City Art Museum

New Horizons of Beauty

The Latest Collection of Artizon Museum, Ishibashi Foundation

開催
予告

美の傑作が久留米に集まる。

ヴァシリー・カンディンスキー《自らが輝く》1924年 石橋財団アーティゾン美術館蔵

久留米市美術館 2F

休館日 | 月曜日 (ただし、2月23日、5月4日は開館)

開館時間 | 10:00-17:00 (入館は16:30まで)

主催 | 久留米市美術館、西日本新聞社、読売新聞社、テレQ

特別助成 | 公益財団法人石橋財団

後援 | 久留米市教育委員会

2026

2.14 SAT → 5.24 SUN

久留米市美術館 開館10周年記念展

美の新地平

石橋財団アーティゾン美術館のいま

久留米市美術館の開館10周年を記念して、
石橋財団アーティゾン美術館の新収蔵品を中心としたコレクション展を開催します。
印象派や日本近代洋画など、ブリチストン美術館の伝統を引き継ぎながら、
現代美術や女性作家、日本近世美術の収集にも力を注ぎ、
コレクションの幅を広げ続けているアーティゾン美術館。
本展では、時代と国境を超えたアーティゾン美術館の「いま」を伝える
名品約80点をご紹介します。



2026 2.14 SAT
→ 5.24 SUN

※会期中展示替えを行います。



1. 藤島武二《東洋振り》1924年
 2. ベルト・モリゾ《バルコニーの女と子ども》1872年
 3. 坂本繁二郎《幽光》1969年
 4. パウル・クレー《双子》1930年
 5. ジーン・セヴェリーニ《金管奏者(路上演奏者)》1916年頃
- すべて石橋財団アーティゾン美術館蔵



アーティゾン美術館

ブリチストン美術館の伝統を引き継ぎながら、
2020年1月に東京・京橋に開館。新たな館名の
「ARTIZON」は、「ART」と「HORIZON(地平)」を
組み合わせた造語で、時代を切り拓くアートの
地平を多くの方に感じ取っていただきたい、
という意志が込められています。

2025年度の展覧会

5月24日[土]—8月31日[日]「異端の奇才 ピアズリー展」
9月13日[土]—10月26日[日]「橋口五葉のデザイン世界」
11月8日[土]—2026年1月18日[日]「ちくごist 深よみ 古賀春江」

石橋正二郎記念館リニューアル

久留米市美術館とともに開館した石橋正二郎記念館は、ブリチストンの
創業者である石橋正二郎を顕彰する全国唯一の公開施設です。10周
年を迎えるにあたり、公益財団法人石橋財団のご寄付により、8月1日
から改修工事を実施し、設備やコンテンツを一新して2026年2月14
日[土]にリニューアルオープンします。

※展示室イメージ



入場料＝一般1,500円(1,300円)、シニア1,200円(1,000円)、大学生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上 ※上記料金で、石橋正二郎記念館もご覧いただけます
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、無料となります
※チケットぴあ・ローソン等で、会期1ヶ月前より前売券販売(1,200円/Pコード687-195、Lコード86713)

交通案内 ○福岡空港より西鉄高速バスで50分(文化センター前下車) ○JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分(快速で40分) ○西鉄福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分 ○JR久留米より西鉄バスで15分、西鉄久留米より5分(文化センター前下車)
○久留米インターより車で10分(石橋文化センター内に有料駐車場あり) ※おおよその時間で記しています。

●本展覧会に関する情報に変更がある場合は、当館ホームページ、フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタグラムによりお知らせいたします。



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015
Tel: 0942-39-1131 Fax: 0942-39-3134
<https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam/>

